



# 「ぼくの わたしの すきな 本」



こんな本だよ



(出版社：偕成社)

からすのパンやさんの家に四羽の赤ちゃんが生まれました。オモチちゃん、レモンちゃん、リンゴちゃん、チョコちゃん、まい日 赤ちゃんたちがなくてとおおいそがしなので、はんやきパンやパンがこげたりしてとうとうびんぼうになりました。そして赤ちゃんたちのおやつになり、まわりの子どもたちのあいだで、にんきになってみせがどんどんはんじょうするようになった本です。

この本のこころがすきー！

子そだてのいそがしさにパンがこげたり、はんやきになったり、うりものになれず、パンは子どもたちのおやつになりました。おやつのパンのあじがまわりの子どもたちにひろがり、みせがどんどんはんじょうするようになったところがすきです。

本の名前 なまえ

からすのパンやさん

本を書いた人 か

がごとし

おいしいだけではなくて、一風変わった、  
かわいらしいかたちのパンが登場するよ。  
みているだけで楽しくなる本だよ。

